

学会ニュース

第3号 2010



目次

- 社会見学
- 林先生在外研究報告会
- 第40回インナーゼミナル大会
- アクティブスチューデント@西宮 CUBE

甲南大学経済学会

社会見学



グリコピア神戸

午前中にグリコピア神戸を訪れました。ビデオでカカオからチョコレートができるまでの説明を受け、実際に工場内の施設でチョコレートの製造工程を見ることができました。



グリコトレードマークの移り変わり



大正11年～昭和3年



昭和3年～20年



昭和20年～28年



昭和28年～41年



昭和41年～46年



昭和46年～平成4年



平成4年～

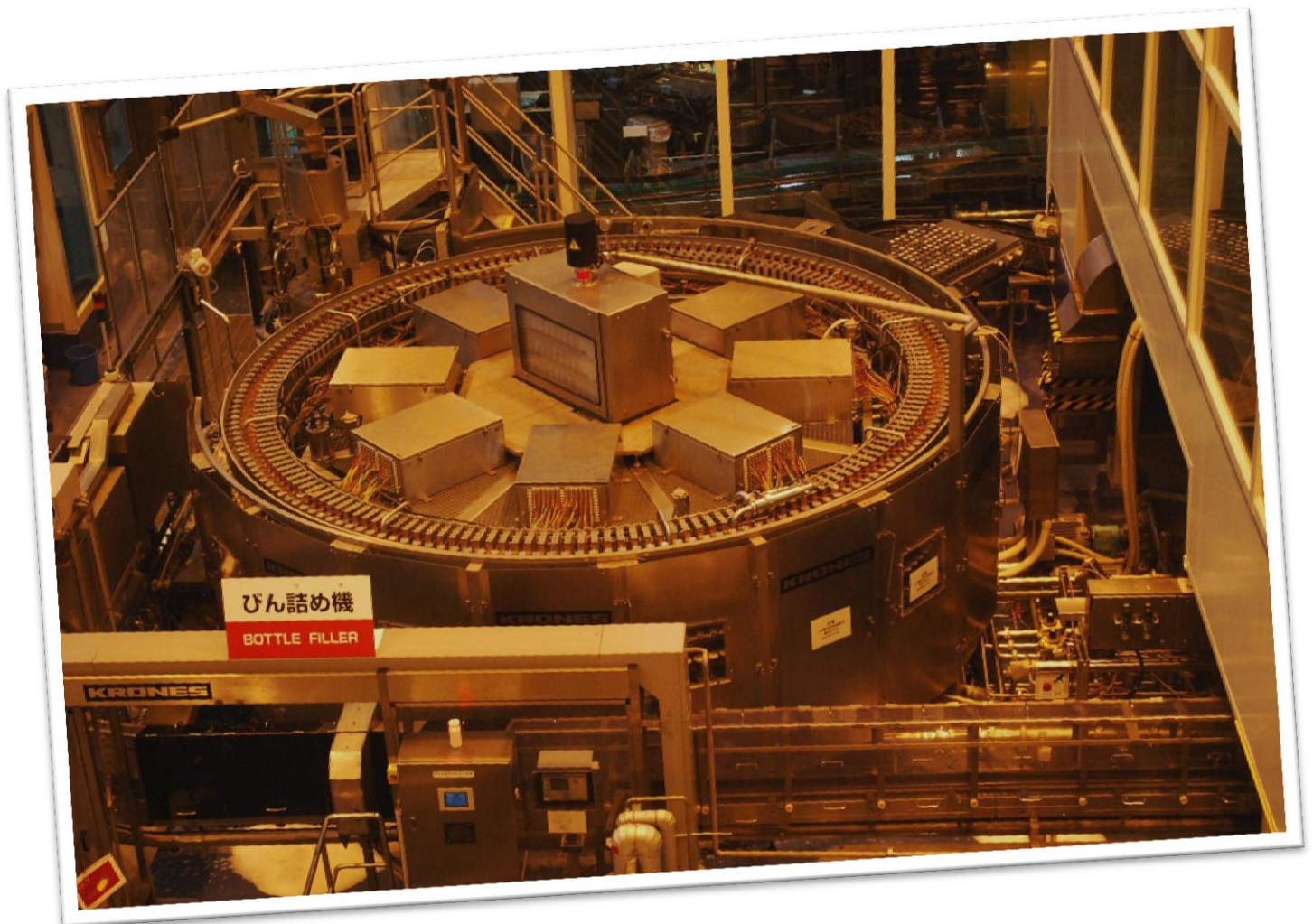
「グリコの歩み」では、今までグリコのCMに出演してきた芸能人のパネルがあり、またグリコのマークの移り変わりも見ることができました。みなさんもご覧になってはいかがでしょうか。





キリンビアパーク神戸

昼食後のキリンビアパーク神戸では、ホップや大麦の説明、ビール缶に詰める作業などを見ました。またキリンビアパーク神戸では環境保全に取り組んでおり、CO₂排出量の削減や水質保全等、環境に対する意識の高さを知ることができました。





ビールの歴史

The History of Beer 啤酒の歴史 啤酒의 역사



紀元前3000年頃

① 古代メソポタミア・古代エジプト

古代メソポタミアや古代エジプトでは、紀元前3000年にはすでにビールがつくられていました。キリンビールが古代エジプトの壁画を元に復元したビールはアルコール度数が8~10%の酸味の強いものでした。



5世紀~15世紀

② 中世ヨーロッパ

中世ヨーロッパでは、ビールは主に修道院で醸造され、僧侶にのみ飲まれました。この時期に、ビールは「聖酒」として知られるようになりました。



紀元98年頃

② 古代ゲルマニア

古代ギリシャやローマではワインがよく飲まれましたが、ふどう栽培に向かない北ヨーロッパでは早くからゲルマン人によってビールがつくられました。ゲルマン人のビール好きはローマの歴史家タキトゥスの「ゲルマニア」にも記されています。




17世紀~19世紀

③ 日本のビール

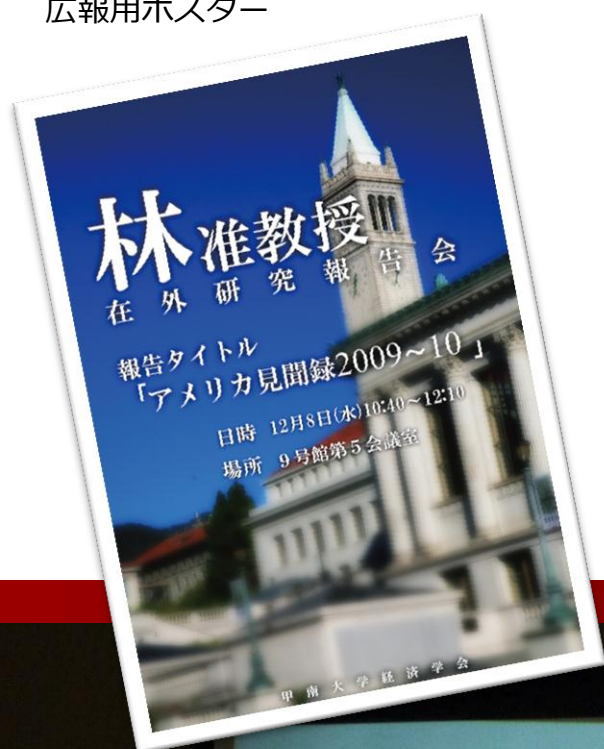
日本のビールは、1854年に開港場が設けられた横浜で初めて醸造されました。これは、西洋のビール製造技術が伝来した結果です。






林先生による 在外(アメリカ)研究報告会

広報用ポスター



12月8日、カリフォルニア大学バークレー校で今年まで在外研究されていた林先生の報告会が行われました。シリコンバレーのITに関する事柄を主に、今日のアメリカ事情など、たくさんの貴重で興味深いお話を聞くことが出来ました。



アメリカ見聞録
2009~10



林先生による在外研究報告会の様子



第40回 インナーゼミナール大会

インゼミとは? 《

インナーゼミナール大会(インゼミ)とは、経済学部生が日頃ゼミナールで学んできた成果を多くの人に知ってもらうことを目的とした大会で、今回は2010年12月4日に開催され、総勢33チームが参加しました。インゼミグランプリは以下のように決定しました。尚、優勝チームと準優勝チームの表彰が行われました。



第40回インナーゼミナール大会 グランプリ



811 教室

順位	コマ	ゼミ名	チーム名	発表内容
1	3	永廣ゼミⅡ	AKB ふおーていーせんきよ	Shall We 選挙?
2	5	中島ゼミⅡ	CLASSICS	「お前らどこ就職すんねん!？」
3	4	古川ゼミⅡ	古川 4th Children	第壱話 金融危機、襲来
4	1	阿萬ゼミⅡ	AMN(4)8	SOCIAL NETWORK
5	2	古川ゼミⅡ	Six and the bank	6 大銀行

812 教室



順位	コマ	ゼミ名	チーム名	発表内容
1	4	寺尾ゼミⅡ	寺尾ゼミナール第9期生	手からこぼれ落ちる偶然 —セレンディピティの経済学—
2	2	稲田ゼミⅡ	E・I	甲南独自の経済指標を作りたい
3	5	岡田ゼミⅡ	重大ブラザーズ	大経済学者に学ぶ現代経済の理解
4	1	杉村ゼミⅡ	イカダシンジ～逃げちゃダメだ～	『SNS』が稼ぐ!!『SNS』がアツイ!!!!!!
5	3	森ゼミⅡ	森・エコノミカス	行動経済学～非合理的な人間行動～

813 教室

順位	コマ	ゼミ名	チーム名	発表内容
1	2	柘植ゼミⅡ	アクティブ柘植	『持続可能な農業』を推進するために ～CVM から分かる有効な販売手段～
2	4	後藤ゼミⅡ	510 研究所	信じるものは救われる？
3	1	市野ゼミⅡ	チーム・カントリーマーム	ランキングって何だろう？
4	5	杉村ゼミⅡ	We can fly	三空港問題からみた関西
5	3	市野ゼミⅡ	1パチ	流行って何？

821 教室

順位	コマ	ゼミ名	チーム名	発表内容
1	2	永廣ゼミⅡ	チーム末っ子	STOP!!少子化
2	4	小島ゼミⅡ	小島結婚相談所	婚活市場・事情!異常?
3	5	上島ゼミⅡ	チーム UESHIMA	仕事と家庭の両立
4	1	小林ゼミⅡ	チーム☆コバキン	年金制度について

822 教室

順位	コマ	ゼミ名	チーム名	発表内容
1	5	柘植ゼミⅡ	音楽班	音楽と環境問題 ～音楽で変える環境意識～
2	2	小山ゼミⅡ	チーム CSR	企業による環境行動
3	3	藤本ゼミⅡ	エコリッチ	世界環境を救うのは誰だ!?
4	1	草野ゼミⅡ	魁草野塾	あついのはいやや!

823 教室



順位	コマ	ゼミ名	チーム名	発表内容
1	1	小山ゼミⅡ	小山動物園	あなたがそれを選ぶわけ
2	3	稲田ゼミⅡ	FC 稲田	Economic Impact of the World Cup
3	5	森ゼミⅢ	森レモンスカッシュ	リスクを好む人達
4	4	青木ゼミⅡ	KO-MAN	観光と産業のグローバル化と日本経済
5	2	青木ゼミⅡ	青木企画	日本のコンテンツ産業と地域振興

824 教室



順位	コマ	ゼミ名	チーム名	発表内容
1	5	林ゼミⅢ	嗚呼林ゼミ	クラウドコンピューティング
2	3	中島ゼミⅡ	ゲイバー☆ムネオ	ユニクロ×ドラッカー ～経済学部が、ユニクロ経営にもの申す!～
3	2	阿萬ゼミⅡ	不安全地帯	衣類～IRUI～イルイ～いるい
4	4	高ゼミⅡ	THE KOZEMI SHOW	携帯電話産業におけるグローバル化
5	1	高ゼミⅡ	semiconductor	日本と韓国の半導体産業



学生評議員による今回のインゼミ大会に関する感想

学生評議員 A

12月4日、土曜日。第40回インナーゼミナール大会本番。

8時。登校。学生評議員の朝は早い。

8時15分。経済学会コモンルーム集合。その後の担当も経済学会コモンルームであるため、そのまま残留する。

9時15分。8号館1階、受付へ。開会式は始まっている。ちらほらと入場するチーム代表者の姿がある。時間に余裕を持って行動すべきではないかと思う。同時に、提出書類の締切を守らないチーム、提出基準を満たさない書類を提出するチームがあったことを思い出す。

9時45分。同号館2階、本部へ。1コマ目発表のチームが準備に取りかかっている。これ以降、発表終了まで何回か教室機材のトラブルが起こる。事前に機材の確認をしておくよう、学生評議員(総務委員)から指示していたにも関わらず、である。

10時。1コマ目の担当は824教室。本来の担当は別の学生評議員である。しかし、まだ大学に到着していないという。発表者も発表者なら、学生評議員も学生評議員である。情けない。

11時5分。2コマ目の担当は813教室。この発表者たちはアクティブスチューデントプログラムの参加チームであり、後に東京に行くことになっている。発表内容は持続可能な農業についてである。よく練られていると思うが、まだまだ成長が期待できる。

11時50分。再び本部へ。教員・採点者・学生評議委員分の弁当配布を行う。そのまま3コマ目も本部に残る。ここで1人(某チームの代表者)が資料を取りに来る。チーム代表者は必ず開会式に参加するよう、学生評議員(総務委員)から事前に指示していたにも係わらず、である。

13時55分。4コマ目の担当は再び813教室。学長の思わぬ質問に少し驚く。

15時。5コマ目の担当は812教室。全35チーム中で唯一、歴史・思想(F群)をテーマ群としているチームである。発表者は2人。もう少し論点をまとめていたらとも思ったが、時間とゼミ生の人数を考慮するのであれば充分である。

15時50分。経済学会コモンルームへ戻る。採点結果をエクセルに入力し、集計する。表彰式用の表彰状もこの時に印刷する。慌ただしい。

18時30分過ぎ。インゼミレセプションの片付け。テーブルに残った物を片付け、テーブルクロスを退け、通常的位置にテーブル、イスを戻す。忙しなく動き、疲れる。

19時頃。経済学会コモンルームへ。インゼミを終えてのプチ反省会。次回以降の改善点を整理する。

19時30分時頃。下校。批判ばかりになってしまったが、次回の運営への反省も込め、以上を感想に代えることとする。

学生評議員 B

今年度のインナーゼミナール大会も無事に終えることが出来ました。

来年度の大会を見据えた2年生をはじめ、父兄および一般の方や高校生など例年より一層多くの方が来場されました。発表の場でも活発な質疑応答が交わされ、とても盛り上がりを見せました。

今回は、特に甲南大学と提携する高校の学生が多数来場しました。学生たちは発表についてのアンケートに感想・意見等を豊富に記入しており、意欲的に観覧していた様子でした。インゼミに関心を持ってもらい、大学を少しでも感じる事が出来たのなら、とても光栄に思います。

ただ1点、今回辞退したチームが出てしまったことは残念です。出場することを決めたのなら、その義務を全うしてほしいと共に、チーム一丸で作上げたものはやはり、「発表」という形で完成してもらいたいと運営側として感じました。

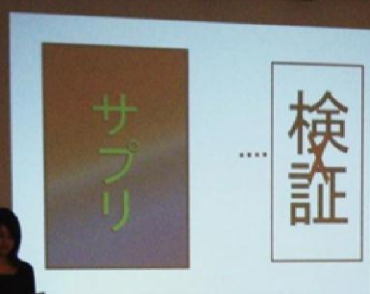
私個人としては、2度目となるインナーゼミナール大会。昨年とは見方が変わりました。2年間を通して、発表を行うことそのもの・且つその中で自らの意見を述べる難しさも知りました。収集した情報の要約や、レジメ作成についてはどんな構成の仕方が読みやすいか吟味するなど。来年度に自分が発表する際の参考になったという意味で、改めてインゼミに携わったことはとても収穫でした。

当然、現時点ではインゼミに出場することはおろか、発表の場に立てる研究が出来るかどうかも分かりません。1年後にむけて、大学での活動に積極的に参加し、また自身だけでなく私が所属するゼミ全体が成長できるよう努力したいと思います。

アクティブスチューデント@CUBE

経済学部和市野ゼミ、後藤ゼミと西宮 CUBE 校のプロジェクト(ゼミ)がそれぞれの研究報告を行いました。CUBE の設備の良さが非常に羨ましかったです。

後藤ゼミ発表中の様子



クリスマスが近づく 12月 11日 (土)、アクティブ・スチューデントプランが西宮にある CUBE キャンパスで行われた。

そもそもアクティブ・スチューデントプランとは何かというと、皆さんは毎年インナーゼミナール大会後に、アクティブ・スチューデントプログラムというものが東京で行われていることをご存知だろうか。このイベントはアクティブ出場希望のインゼミ上位 2 チームが東京で社会人を前にして研究結果を発表する場となっている。(インゼミとは違い、社会人視点の感想や意見は学生のものに比べて厳しいものとなるが、確実に自分のスキルアップや経験として人生の糧になるだろう。興味のある方は交通費も出るのでは是非参加をすすめたい。)

そのアクティブ・スチューデントプログラムのような、学生に機会を与える場を関西でも出来ないだろうか、ということで全国にある甲南会の一つである宝塚甲南会が立案し、経済学会が構想を練り、CUBE や教職員の協力を経て今回プレテストという形で行われることとなった。

今回の参加チームは経済学部側からは市野ゼミⅡの1パチ(13名)、後藤ゼミⅡの510 研究所(15名)、CUBE 側からはボイルズ・コリンプロジェクト(2名)、新井康平プロジェクト(3名)の発表が行われた。発表内容を簡単にまとめると、市野ゼミは流行とは何かという考察、後藤ゼミからはサプリメントなどにおける心理的効果の市場、社会のあり方、ボイルズ・コリンプロジェクトからは児童労働の現状とその解決策、新井康平プロジェクトからは大学講義のモチベーションについてのアンケート調査データの分析とその傾向の考察、といったものである。

質疑応答では聴講に来た CUBE 生や教員から質問などが相次いだ。経済学部生側からの意見が少なかったのは残念だが(かくゆう私も発言していないのだが・・・)結果としては内容の濃いものとなった。

発表を終えるとレセプションが行われた。CUBE 学生との談笑で、CUBE ではゼミではなくプロジェクトと言い、連続3限続けて行われるそうだ。こういった学部の違いを認識しつつレセプションの時は過ぎていった。その後 CUBE 学生の粋なはからいで CUBE キャンパス観光が行われた。そして今回のアクティブ・スチューデントプランは幕を閉じた。

特に当日は問題なかったものの、今回はプレテストという形で行われたために少し強引に押し進められた点や、短期間で構想されたこともあり内容を吟味していく必要がある。2011 年度はどのような形で続けていくのか、これが経済学会の課題である。